

2018年12月

藤原直哉の学びのカフェ

～遠山郷ふれあい旅～

遠山郷で再発見する人情と大自然のすばらしさ

12月:遠山郷の伝統を楽しむ

霜月祭り&中央構造線丸わがりツアー



研修日程：2018年12月1日（土）・2日（日）

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修企画：株式会社あえるば（旧社名 シンクタンク藤原事務所）

旅行企画・実施：株式会社南信州観光公社

<1. ご挨拶>

このたびは、2018年12月藤原直哉の学びのカフェご案内要綱にお目通しいたいただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、訪れた人はその日本の原風景の体験に魅かれています。

遠山藤原学校は2016年には開催10周年を記念するにいたりしました。12年前、私はこれからの時代を生き抜く知恵を皆でともに学ぶにふさわしい場所を探して全国を視察しておりました。その中でご縁をいただいた場所が遠山郷です。高齢化の波にのまれそうになりながらも、雄大な自然とともに生きる知恵を受け継ぎたくましく生きる人々とお会いしたときに、日本のこれから進むべき道がはっきりと見えました。この秘境でしかできない教育がある、その思いを強く抱きながら12年遠山郷での研修を続けてまいりました。

遠山藤原学校10周年となる2016年より、当初の「遠山藤原学校」という名称から「藤原直哉の学びのカフェ」に変更いたしました。「カフェ」という場所は、老若男女誰でも一緒に空気を共有してありとあらゆるテーマの話題が交わされ、皆が肩に力を入れることなくリラックスしながら過ごすことのできる場所です。「学校」という言葉の響きは、人を平均値や中央値にならしていく不自然でロボットのような人生設定機関を連想させますが、「カフェ」は外れ値や特異値を良しとする雰囲気になった、生命と新しい人生・社会の希望を思い起こさせる言葉で、何ひとつ同じものがない大自然のゆらぎを感じながら学んでいただきたいという思いを込めております。「カフェ」ですので実際に、吟味された豆を挽いて手で淹れる本格コーヒーを味わっていただきながら私の講演をお聴きいただく機会も設けております。

12年目となる今年2018年、内容をさらに模様替えいたします。人工知能のますますの拡大で、理性だけで生きる人では人工知能に対抗することは長期的に不可能でしょう。人はより人らしく生きることが大切になってきます。人口知能ができるのは頭の真似だけですから、心と腹は依然として人間だけの世界。ですから人はこれから心と腹、感情と直感・勇気を育てていかなければなりません。理性の舞台に上がってこない無意識の自分にもっと自信を持って、感情と直感を鍛え、勇気を養うのです。ブロックチェーン技術の台頭も恐らくこれはインターネットと組み合わせられて世界秩序を根本的にタテからヨコに変える道具になるでしょう。かつての社会主義国みたいにみんながヨコに並ぶというよりも、価値観でヨコにつながる無数のネットワーク社会ができていきます。頭ではなくて心と腹で付き合う仲間が決まります。頭だけの付き合いがまさにタテのしがらみ、心と腹による本音の付き合いがヨコのつながりです。そうすると人は自分の無意識の力の大切さをよく自覚して、それを生活や仕事によく取り入れていって、その過程で自分の心と腹を育てていくことがこれからの時代の賢明な生き方だろうと思います。

パワースポット巡りというのが流行っています。しかしそれは誰かにここがパワースポットだと言われてそこに行って癒されようというものです。しかし実は本当にそこがパワースポットなのかどうか、本当にその人が癒されたかどうかはまた別の話です。たとえばある場所にて気を感じるかどうかは自分の感覚であって人と共有することはなかなか難しく、いまひとつ自信が持てないという人がほとんどではないでしょうか。今年の学びのカフェでは、あなたの潜在能力を発揮してもらってあなた自身のパワースポットを見つけてもらおうということを行います。ダウジングというものをご存じですか？地下水や貴金属の鉱脈など隠れた物を手に持った棒や振り子などの装置の動きによって発見する手法のことですが、基本的には手が無意識のうちに動くことによって棒が動くという現象で、いわば手の無意識で微妙

な動きを簡単にわかりやすく棒の動きに増幅して見せてくれるのがダウジングです。頭で判断して手を動かすのではなくて、頭は動かないのに手が勝手に動いて何かが見つかる、まさに人は本来誰にでも潜在能力があって、無意識のうちに体は反応しているということを体感してもらう面白い体験です。今回は皆さんに実際に金属棒を持っていただいて実際に遠山郷内のどこかを歩いてご自身の無意識が反応するパワースポットを見つけていただきます。ご自身の無意識の力の存在を感じてください。

今や世界の人々の人生最大の関心事は健康増進。なかでも肉体（フィジカル）、精神（メンタル）、霊（スピリチュアル）の3つの側面の健康を同時に増進させようという「ウエルネス」の追及は、世界の流行の最先端でもあります。遠山郷は険しい中山間地にありますから、ハイキング、トレッキング、サイクリング、ランニング、療養温泉などを通じた肉体の健康増進はいくらでもメニューを組むことができます。さらに遠山郷の大自然、人情、歴史、動物たちとのふれあいは精神の健康増進にとっても効果的です。そして遠山郷でのダウジングによる無意識の力を確認することは霊的な健康増進にうってつけの体験です。きっと遠山郷の透き通ったような、しかし元気な霊気を感じて、どなたも緊張がほぐれて、何かご自身の未来に温かいものを感じていただけるものと思います。そして今回は遠山郷のウエルネス観光でも目玉中の目玉、鎌倉時代からの湯立神楽を伝承しているとされる霜月祭りを見学します。

また遠山郷という非日常が舞台ですから、いつもの講演に加えて藤原直哉を囲む車座懇談会を行います。ここでは藤原はじめ皆が車座となりながら、政治経済の大局だけではなく誰かが抱える日々の悩みのこと、人生のこと、などをゆっくりと藤原と参加者の方々の双方向で意見交換をしながらそれぞれにとっての学びを深めていただきます。

恒例の藤原直哉の講演もちろん行います。ダウジングにて体感していただいた後にじっくりと頭でも理解いただく一体型が一番理解が深まります。遠山郷ならではの研修をぜひとも楽しんでください。

<2. 研修の内容>

一泊二日の研修の大まかな流れですが、まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります道の駅「遠山郷」内の、遠山郷観光協会の施設「アンバマイ館」に集合していただきます。その後昼食をおとりいただき、霜月祭りの会場となる熊野神社を訪問します。霜月祭りはお昼頃からすでに始まりますのでまずその頃の様子をご覧ください、次いで和田地区内にあります龍淵寺、和田城を見学します。その後、和田城にて藤原直哉を囲む懇談会を行います。内容はその場でざっくりばらんな形で決めていきましょう。その後は道の駅「遠山郷」内のかぐらの湯の温泉に浸かってリラックスされてください。そしてかぐらの湯内で夕食をとります。霜月祭りと同日のため地元もせわしくなく、地元の方との懇親会はなしで、少しゆっくり食事とお酒でもやりながら参加者同士の親睦を深めましょう。その後再び熊野神社へ向かいます。霜月祭りは面の登場もあり夜の方が盛り上がっていますのでその様子をご覧くださいながら、適宜休憩もとりつつ、お祭りを見学します。お祭りの終了は真夜中過ぎとなりますので、終了前に宿でお休みになりたい方は宿へお連れいたします。

2日目には「中央構造線丸わかりツアー」ということで、飯田美術博物館の客員研究員でいらっしゃる坂本正夫先生にご案内をお願いしております。坂本先生は遠山郷御池山にある隕石クレーターの調査研究をされており地質研究の専門家です。先生に中央構造線関連のいろいろな場所を案内いただき、理解を深めていただきます。野外で見学いただいた後は木沢小学校に向かい、同校にてさらに坂本先生に見学後の講演を30分ほど行っていただきます。

その後昼食をはさみ、藤原直哉の時局展望講演会を行い、研修旅行の終了、解散となります。電車でお帰りの方はJR平岡駅までお送りいたします。

<3. 見学場所のご案内>

1日目の昼食後にまず向かう熊野神社は1243年創建。国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山の霜月祭りでは遠山郷の各神社で湯立神楽が奉納されます。社殿の中央に設えた釜の上には神座が飾られ、湯を煮えたぎらせて神々に捧げます。祭りのクライマックスを迎えると天狗などの面が登場し、煮えたぎる湯を素手ではねかけます。ふりかけられた禊ぎの湯によって、一年の邪悪を払い新しい魂をもらい新たな年を迎えるという趣旨です。このお祭りは、最後に赤い顔をした鬼のような「人」が勢いよく飛び出し（四面）、さらにまた天伯と呼ばれる別の鬼のような「人」が四方を清めて終わりになります。ごく素直に考えると、このお祭りの最後の目的は天伯を表に出すことだとも言えると思います。天伯というのはその土地に長く鎮まっている神様と言われていますがそれ以上の具体的なことは何もわかっておらず、実は謎の神様です。

和田城は遠山郷の郷土資料館で、この地区に数百年前から伝わる国の重要無形民俗文化財、霜月祭りのビデオや複製の面（おもて）、また林業に関する展示、さらには遠山氏の子孫の方が伝えている宝物などを見学します。ここでは目の前の観音霊水で入れた大変おいしいコーヒーが提供されていますのでこちらで一息ついてください。龍淵寺は地域の有力豪族であった遠山氏の菩提寺です。遠山氏の居城跡に建てられたその境内には樹齢500年の観音大杉があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。さらに龍淵寺には7年前に再建された総けやき作りの立派な観音堂があります。このお寺では長くお写経を続けていて、奉納されたお写経がこの観音堂に納められています。光堂と名付けられた観音堂からは和田宿が一望できます。その境内に沸く観音霊水は400年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、名水のなかでカルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多いということが判明しています。ぜひ味わってみてください。

遠山温泉郷「かぐらの湯」の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲用することもできます。この地域は今回見学予定になっている中央構造線のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所ですが、この温泉はそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉です。温泉に入浴いただいた後は、温泉施設内の食堂にて夕食です。夕食後は霜月祭りを再び見学です。お宿はかぐらの湯と同じ道の駅にあります「かぐら山荘」にお泊りいただきます。

2日目は先述の坂本先生にご案内いただきながら、下栗、木沢、和田と遠山郷の各地をめぐり中央構造線関連の場所を視察ツアーいたします。最後は旧木沢小学校にて坂本先生の講演で締めくくります。

旧木沢小学校は、遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設です。旧木沢小学校は、平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画会の開催、引っ越しのサカイのCM撮影などが行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。また、旧木沢小のすぐ近くには遠山藤原学校農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、手弁当で駆けつけてくださる遠山

郷ボランティアスタッフと地元のみなさんが力を合わせて開いた農園です。今年は、7月に発生しました西日本豪雨の被災地に農園で採れたじゃがいもを送らせていただきました。またここでは21世紀の肥だめとして注目されている新しい**複合発酵技術**を使った液肥を作り、散布しています。その様子もご覧いただきます。旧木沢小学校がある木沢地区はかつての林業の拠点であり、光岳や聖岳を目指す南アルプス登山の玄関口であるため見渡せば美しい山々に囲まれています。その木沢地区を少し歩いてみましょう。同じ木沢地区にある**梨元停車場**はかつて遠山森林鉄道の起点、梨元貯木場があったところで、昭和40年代に森林鉄道が廃止されてからは南アルプス登山の玄関口となっています。この構内にはかつて森林鉄道を走っていた機関車と客車が静態保存されていたのですが、5年前から地元の有志が**夢をつなごう遠山森林鉄道**という団体を作り、鉄道をもう一度動かそうと立ち上がりました。そして地元や各地の専門家の応援を得ながらついに機関車が動くようになり、地元の有志が線路をかき集めてきて今や300メートルほど軌道を整備し、さらに地元の大工さんに走行可能な客車を復元していただき、ついに遠山森林鉄道の車両が動くようになったのです。夢を現実にしてしまう地元の方々の熱い思いが結集された場所です。

交通のご案内です。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越しください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋でJR飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。平岡駅から道の駅「遠山郷」内にあるかぐらの湯バス停までは乗り合いタクシーをご利用ください。所要時間約20分です。下車後改札を抜け、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分、かぐらの湯には12時30分に到着です。料金はお1人600円です。そして終点のかぐらの湯バス停の目の前が集合場所のアンバマイ館です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田インターチェンジから約1時間です。カーナビで「かぐらの湯」を設定いただくと、他のインターチェンジが表示される場合がありますが、飯田インターで降りていただく方が道も整備されており運転もしやすいかと思われま

す。日曜のお帰りですが、16時00分に旧木沢小学校で解散。電車でお越しの方はJR平岡駅までお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、平岡駅を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着という行程がよろしいかとお思います。

2018年10月吉日
株式会社あえるば（旧社名 シンクタンク藤原事務所）
会長・経済アナリスト 藤原直哉

<4. 研修日程表>

12月1日(土)

時間	予定	写真
12:30	集合 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食 道の駅「遠山郷」内「元屋」にて	
13:30	見学 熊野神社にて霜月祭り見学	
14:00	龍淵寺見学	
14:30	和田城にて藤原直哉を囲む車座懇談会	
16:00	出発 かぐら山荘にてチェックイン その後かぐらの湯で入浴。	
17:00	夕食 かぐらの湯内「味ゆ〜楽」にて夕食。	
19:00	出発 霜月祭り見学 適宜、旧木沢小にて休憩 (車でお連れいたします)	
23:00 or 24:00	お祭り見学終了。お宿へ。 (その前でもお休みになりたい方は 随時お宿へお連れいたします)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>お祭りの見学は夜間となり、屋外で過ごす時間も多いので防寒対策を準備されてください。</u> ・ <u>観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。</u> 	
		
		

アンバマイ館

龍淵寺

和田城

熊野神社

12月2日(日)

時間	予定		写真
7:00	朝食	かぐら山荘にて	
7:45	出発	ふじ姫まんじゅうへ お饅頭試食。	
8:00	出発	下栗方面へ向けて	
8:30	到着	坂本正夫氏案内のもと、下栗エリア視察 (仏像構造線・桁の巨木、など)	かぐら山荘
11:00	到着	程野・木沢・和田エリア現地視察 (中央構造線露頭・日本最深変動溪谷、など)	
12:00	到着	旧木沢小にて坂本氏講演	
頃	昼食	終了、昼食	
12:30	昼食	終了、昼食	ふじ姫まんじゅう
13:00		校舎見学および自由時間	
14:00	講演	藤原直哉の時局展望講演会 「2019年、改元を迎える日本の未来を展望する」	
16:00	終了	旧木沢小学校にて解散	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>歩きやすい服装でお越しください。</u> <u>飲料水、雨具も各自ご用意ください。</u> ・ ・ <u>悪天候の場合は臨機応変に対応させていただきます。</u> ・ <u>電車でお越しの方は、解散後にJR平岡駅までお送りします。豊橋方面行特急の平岡出発は16:42です。</u> 	

<5. 研修費用> (消費税込み)

大人 1名 (中学生以上)	48,000 円
子供 (小学生以下) 1名	上記の価格の半額
講演会のみご参加 (日曜 14:30 ~16:00) 1名	5,000 円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です。

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 かぐら山荘 〒399-1311 長野県飯田市南信濃和田 561 TEL 0260-34-5777
・ 食事料金	日程表に記載された昼食 2 回、夕食および懇親会 1 回、朝食 1 回 (なお子供料金にてご参加の方は、1 日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 入館料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 管理料 ・ 鉄道・バス費用 ・ 旅行保険料	日程表に記載された施設での入浴料、入館料、講演料、ガイド料、旧木沢小学校管理料、日程表内の貸切バス交通費、下記旅行保険料は研修費用に含まれています。
・ 研修講師	株式会社あえるば (旧社名 シンクタンク藤原事務所) 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡後遺障害 1 千万円) 入院 4,000 円 通院 2,500 円補償

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

<6. 旅行手配>

株式会社 南信州観光公社	〒395-0152 長野県飯田市育良 1-2-1 りんごの里内 TEL: 0265-28-1747 FAX: 0265-28-1748 営業時間: 8:30 ~17:30 総合旅行業務取扱管理者: 高橋 充	長野県知事登録旅行業 : 第 2-431 号 社団法人全国旅行業協会正会員
-----------------	--	---

<7. 研修要領>

募集人員	<p>10名（最小催行人数1名）</p> <p>参加申込書を株式会社南信州観光公社宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）。</p> <p><u>お申し込みは11月16日(金)までにお願いいたします。</u></p>											
研修代金	<p>●募集型企画旅行契約：①この旅行は、(株)南信州観光公社が旅行実施し、参加者は当社と募集型企画旅行契約を締結します。②募集型企画旅行契約の内容は、出発前にお渡しする「ご案内」（最終旅程表）によります。条件は旅行条件書を当社ホームページでご確認いただくか、必要に応じて書面をお送りします。</p> <p>●参加申込書に基づき、旅行開始日の10日前後を目安に参加証・請求書等を作成してお送りします。請求書到着後5日以内に指定の銀行口座へ全額お振込みください。振込み手数料はお客様負担にてお願いいたします。領収書について所定の様式が必要な方は予めファックスにてお知らせください。</p> <p>●最小催行人員にならない場合は中止する場合があります。また、当日の気象、諸状況によりコースの変更や中止となる場合がありますのでご了承ください。</p>											
取消料	<p>契約者が都合により契約を解除する場合</p> <table border="1" data-bbox="491 1070 1369 1339"> <tr> <td data-bbox="491 1070 1088 1160">取消日 10～8日前</td> <td data-bbox="1088 1070 1369 1160">参加費用の20%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1160 1088 1205">取消日 7～2日前</td> <td data-bbox="1088 1160 1369 1205">参加費用の30%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1205 1088 1249">出発日の前日</td> <td data-bbox="1088 1205 1369 1249">参加費用の40%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1249 1088 1294">出発日の当日</td> <td data-bbox="1088 1249 1369 1294">参加費用の50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1294 1088 1339">研修開始後又は無連絡不参加の場合</td> <td data-bbox="1088 1294 1369 1339">参加費用の100%</td> </tr> </table> <p>※お申込内容の変更又は取消をされる場合は、必ずファックス又は郵送にてご連絡ください。電話のお問合せはご遠慮ください。</p>		取消日 10～8日前	参加費用の20%	取消日 7～2日前	参加費用の30%	出発日の前日	参加費用の40%	出発日の当日	参加費用の50%	研修開始後又は無連絡不参加の場合	参加費用の100%
取消日 10～8日前	参加費用の20%											
取消日 7～2日前	参加費用の30%											
出発日の前日	参加費用の40%											
出発日の当日	参加費用の50%											
研修開始後又は無連絡不参加の場合	参加費用の100%											
研修企画（お問い合わせ）	<p>株式会社あえるば 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町 2-13-12 ASUKA ビル 2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751</p> <p>電子メール iwamoto@aeruba.co.jp 担当 岩本寛（いわもと ひろし）</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、岩本寛の携帯電話へお願いします。</u> <u>080-9214-0563</u></p>											

<8. 研修概要>

・ 研修名称	2018年12月 藤原直哉の学びのカフェ
・ 日時	2018年12月1日(土)・2日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区および下伊那郡
・ 集合・解散場所	集合：12月1日(土) <u>12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館</u> 解散：12月2日(日) 16:00 旧木沢小学校 <u>なお、当日の緊急連絡は、岩本寛の携帯電話へお願いします。</u> <u>080-9214-0563</u>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演、学習など
・ 研修講師	株式会社あえるば(旧社名 シンクタンク藤原事務所 藤原直哉 および地元、学校スタッフ

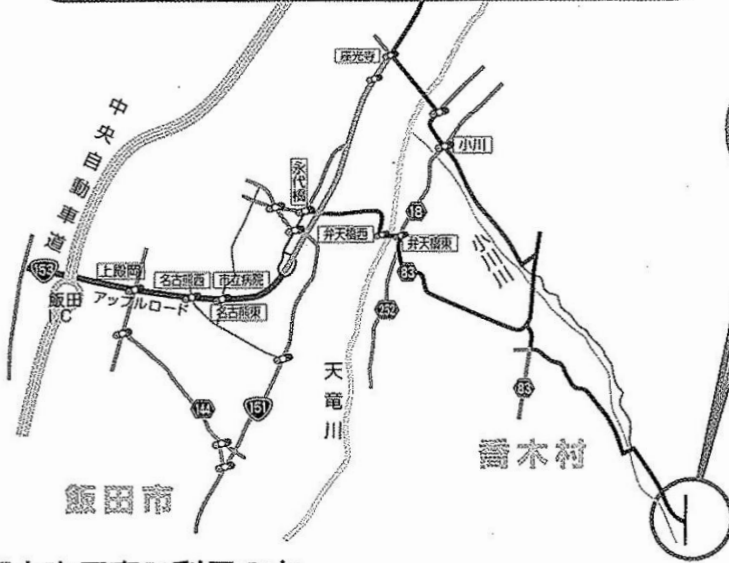
<9. 現地集合・解散場所まで／からの自家用車、電車での交通手段(ご参考)>

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」(かぐらの湯バス停目の前) (電話 0260-34-1071) 中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 新東名高速道 浜松浜北インターから、 兵越峠経由で約2時間</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり 505号 豊橋 9:56 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 下車後、かぐらの湯まで乗合タクシーで20分 お一人600円 (帰り) 旧木沢小学校からかぐらの湯まで車で10分、 かぐらの湯から平岡駅まで乗合タクシーで20分 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:47 ひかり 530号 東京 20:10</p>

<10. 注意事項、および持ち物など>

- ・ 朝夕は特に冷え込みますので、厚手の上着をお持ちください。特にお祭りは夜間に見学となります。
- ・ 歩きやすい服装をお持ちください。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ 山道を走行する場合があります。自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

ロードマップ from 飯田



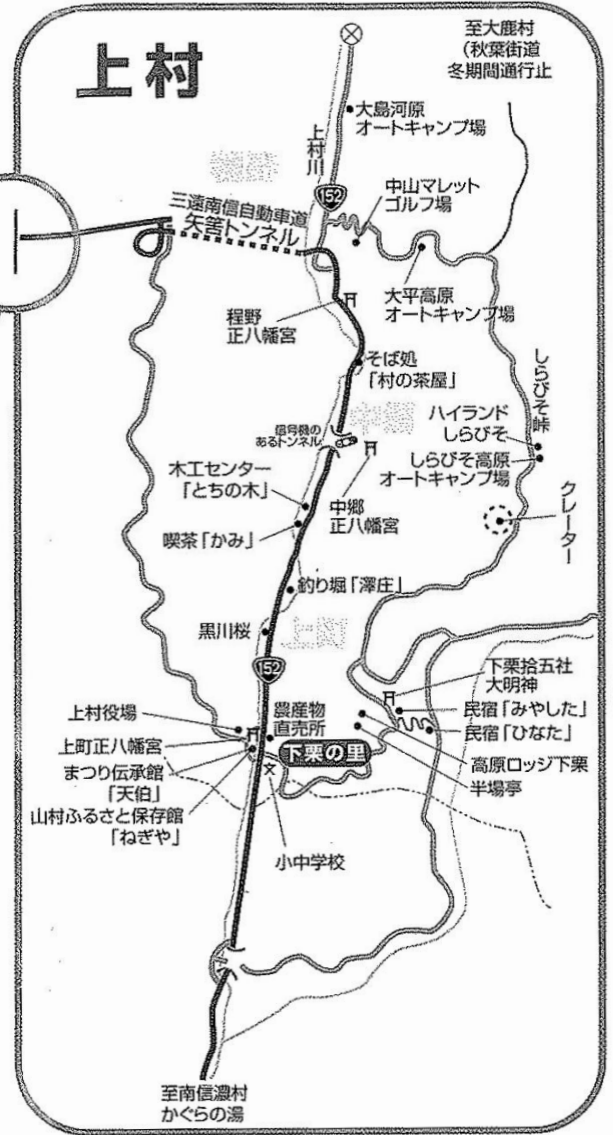
■自家用車ご利用の方

- ・中央自動車道飯田I.Cより県道上・飯田線、三遠南信自動車道矢筈トンネル経由、上村程野まで約26km 飯田I.Cより約40分
- ・中央自動車道松川I.Cより国道153号経由、上・飯田線、三遠南信自動車道矢筈トンネル経由で上村程野まで約32km 松川I.Cより約60分
- ・名古屋方面より国道153号(平谷経由) 国道418号(売木・天龍村経由) 国道152号で南信濃村経由上村まで 名古屋より約3時間30分
- ・浜松方面より国道152号(南信濃村経由) 上村まで 浜松より約3時間

■バスをご利用の方

- ・程野、上村役場前にて下車し、目的地まではタクシーをご利用下さい。

天電観光タクシー TEL.0260-36-2015
(ご利用の際は予約を済ませてお出掛け下さい)



<11. 観光タクシー運行>

アップルキャブ南信州タクシー有限公司
〒395-0153 長野県飯田市上殿岡 717-4 TEL 0265-28-2800

申 込 書

2018年12月 藤原直哉の学びのカフェ 12月1日・2日 ご記入日： 年 月 日

選択してください

・お車でご参加

・電車でご参加

フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		続柄	生年 月日
			明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		続柄	生年 月日
			明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)

■ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。			
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。 部署： _____ 役職： _____		
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	() -	FAX	() -
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	_____ @ _____		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>		
●ご希望などございましたらお書きください。 ・お肉なしを希望、日曜講演会のみ参加希望、など。			

↑ FAX送信先： 0265—28—1748 ↑

(株式会社南信州観光公社)